

2017年3月 キューバ医療事情

下記情報は当地報道を抄訳したものです。詳しくは原文をご参照下さい。

【キューバ医療事情】

3月1日【Granma】

“新たな脳マッピング・プロジェクト”

キューバと中国とカナダは新たな脳マッピング・プロジェクトを共同で行うことにキューバの神経科学センター開催された学会で合意した。キューバ脳マッピング・プロジェクトは10年以上前に発足している。

3月13日【DIARIO DE CUBA】

“モスクワは” キューバで開発された Heberprot P という薬剤を導入希望”

ハバナとモスクワはキューバが開発した医薬品の Heberprot P（糖尿病性足の潰瘍治療薬）のロシアへの導入の可能性について議論した。モスクワで開かれている会議で、キューバ・ロシア政府間委員会の保健作業部会の次回の会合を5月下旬と6月初旬にハバナで開くことにした。

3月13日【DIARIO DE CUBA】

“2040年までにキューバでは30万人が認知症になると予想”

キューバにおける加齢とアルツハイマー病の研究において、2003年以降、16万人が認知症になり、2040年までには人口の2.7%に当たる30万人が認知症になると推定された。

キューバにおける認知症の権威によると65歳以上の8%は軽度の認知障害をかかえ、10%の方が認知症に罹患しているという。

キューバは2050年には世界で9番目の高齢化社会になると言われている。

3月14日【Granma】

“キューバの腎臓病学の50年間”

3月16日～18日にかけてキューバ腎臓病学50周年を記念して、ラ・プラデーラ国際保健センターで INEF と腎臓病学会主催で学会が開かれる。

1966年に腎臓病学研究所が創設され、キューバでの腎臓病学が始まり、4年後にキューバで初めて腎臓移植が成功した。

3月20日【CUBANET】

“キューバの病院は患者に明細書を送り始めた”

ハバナの保健センターは近年、患者が受ける医療サービスに対して、明細書を送り始めた。

この新しい手続きは、キューバの保健システムの医療サービスは無料であるが、費用がかかっていることを国民に知らしめるためである。

3月20日【Cubaencuento】

“キューバ人医師、ベトナムへ”

SMC（キューバ医療サービス）はベトナムの首都ハノイの総合病院にキューバ人医師を派遣させる契約に合意した。婦人科、小児科、美容整形外科、美容皮膚科、家庭医といったキューバ人医療従事者が3年間働く予定。

3月31日【Granma】

“大洪水の被害を受けたペルーにキューバ医師団が向かう”

キューバ医師団は最近の大雨で被害を受けている地域に対して医療サービスを提供するために今週金曜日早朝にペルーに出発した。昨夜夕方に中央医学協力部で壮行会が催された。第23代ヘンリー・リーブ国際救助隊はロベルト・モラレス・オヘダ保健省大臣と接見した。第23代救助隊は10年以上の経験とその他の国際任務経験のある12名の医師と11名の医療従事者で構成されている。7.2トンの医薬品や消耗品を用意しており、約2万人の人々に対して医療サービスを提供できる。救助隊を率いるロランド・ピロト医師は、1970年の5月と2007年8月も地震で被災したペルーにキューバは医療援助を行ったことがあると述べた。

3月31日【Granma】

“キューバの医療技術者が彼らの仕事と研修について討議した。”

3月27日～31日にかけてハバナで第3回国際保健技術会議が開催された。公衆衛生のシステムとサービスの調査の促進とキューバとその他の国の研究機関との協力関係の構築、医療技術者の重要な仕事に貢献するために集まった。

この会議では第4回国際足治療学会、第8回外部固定研修会等の国際会議も併せて開催されている。

3月31日【Diario Las Americas】

“政治的同盟国政府は、キューバに国際クリニックを持っている”

ボリビアのエボ・モラレス大統領は、今年初めから苦しんできた発声困難の治療のためキューバで手術を受けることに決めた。ボリビアで治療を受けないことに対して議論が起きたが、キューバの病院での治療を選択した。しかし彼はキューバで治療を受ける最初の大統領ではない。

キューバの最も有名な患者の1人は元ベネズエラ大統領のウゴ・チャベス大統領であった。キューバで腰の腫瘍を切除するため何度も手術を受け、長い回復期をハバナで過ごした。

2010年にはエクアドルのラファエル・コレア大統領がハバナのフランク・パイス整形外科病院での右膝に軟骨の移植術を受けた。

他には元ゲリラ司令官で現在のサルバドル大統領であるサルバドル・サンチェス・セレン大統領は毎年1週間健診を受けに来ている。

彼らがキューバでの治療を受ける理由は、キューバの高い医療レベルも魅力的だが、主な理由は患者の安全対策である。病院は患者の入院や受けている治療の詳細を明らかにせず、要塞のようになる。

キューバ政府により秘匿された患者として有名なのはディエゴ・マラドーナである。彼は2000年に薬物中毒治療のため国際クリニックのラ・プラデールに入院した。その後、より厳格な管理体制の国立精神保健センターに転院している。